

■方針

YMCA コミュニティサポートは、日本、世界の YMCA と連携し、また地域の多様な主体とも連携して、以下の方針のもと、横須賀エリアおよび広域の市民活動、ボランティアの支援を行います。

- (1) すべての世代の方々が身体的、精神的、社会的な健康を、現在と将来にわたって維持・増進する生活を提案し、機会を提供します。
- (2) 違いを認め共に生きる社会の実現のために、YMCA の活動において世代間交流、グローバルな交流機会や多文化共生の体験・機会を提供します。
- (3) 将来の担い手を育み社会へ輩出するために、若者へ学びの機会と就労支援の機会を提供し、社会参画を支援します。
- (4) 子どもから高齢者まで安心安全な環境と、豊かな生活の時を提供し、福祉のあるべき姿を社会に提案していきます。
- (5) 社会課題に事業を通してより一層取り組むために、地域及び社会の、諸団体及び専門性のある人材と積極的に協働を進めていきます。
- (6) 横浜 YMCA150 周年 (2034 年) を見据えた将来計画に基づき、社会に働き、市民と協働していきます。

■計画

1. 公益活動に資する管理運営事業

市民団体、ボランティアが集う市民活動サポートセンターを快適な環境に保つため新しい生活様式にのっとった施設利用を促進する。利用についてのガイドラインの周知、徹底、スタッフ間の情報共有を強め、安全管理についての意識を高める。

1) 市民活動サポートセンター管理運営事業

(1) 施設管理業務

横須賀市との協定に則り、次期指定管理の更新を見据えてやり残すことのないよう確認しながら管理運営を行う。

スタッフのホスピタリティを高めて利用しやすいセンターを目指す。

(2) 情報収集提供業務

① 定期刊行物の発行

ア. のたろん通信 毎月 1 日発行 3000 部

イ. 情報誌のたろん 年 4 回発行 3000 部

ウ. ボランティア情報冊子 年 1 回発行 1500 部

②活動紹介コーナー掲出団体コーディネート 年間 50 団体

③FM ブルー湘南出演団体コーディネート 年間 36 団体

(3) 相談業務

①ロビーワークにおける相談受付（全職員による対応）

②団体立ち上げ、法人格取得等相談受付（嘱託職員による対応）

(4) 連絡調整業務

◇主たる連絡調整先

- ・市の各部署
- ・中間支援組織連携（生涯学習センター、ボランティアセンター、シルバー人材センター）
- ・支え合い協議会第一層会議体出席
- ・県立保健福祉大学地域貢献連絡会参加
- ・よこすか人社プロジェクトへの参加
- ・商工会議所、産業振興財団との連携
- ・商店街との連携（ダウントウンクラブ他）
- ・よこすか子育て応援ネットワーク、よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク事務局
- ・三浦半島の NPO 支援施設との連携（逗子市交流センター）
- ・災害時の三社連携を推進する地域勉強会

2.公益活動に資する支援事業

コロナ禍の影響を受けている市民活動団体の情報を収集し、どのような支援が必要なのかをくみ取り、オンラインなどを取り入れながら状況に合わせた支援を目指す。また、コロナ禍で起きている新しい課題にも敏感に対応できるように市内の関係機関と連携して支援事業を展開する。

①ボランティア・市民活動人材育成事業

様々な世代の市民が自らの力を社会に活かせるような機会を提供する。また、藤沢・三浦地域の YMCA 各施設と連携し、若い担い手の育成に努める。

<ユース>

- ・さぼせんサポーターズ ・ぼぴーぐみ
- ・三浦半島ユースサポータープログラム
- ・夏のボランティア・市民活動体験の実施

<シニア>

- ・ひくてあまた月間の実施
- ・4S クラブ、いきいき市民塾の実施

<現役社会人>

- ・プロボノ事業

②市民活動の「場」の創出

市民活動の発表や市民参加の場が増えるように、そしてより市民に目立つように「場」の創出、コーディネートを行う。

- ・のたろんフェアの実施

- ・こたろんフェア（作業所コーディネート）実施
- ・夏の市民活動ボランティア体験の実施
- ・ひくてあまた月間の実施

③NPO の組織強化支援事業

- ・ NPO、NPO 法人向けセミナー等の実施（財務、協力者募集、広報活動）
- ・ 市民活動説明会の実施（年 2 回程度）
- ・ 法人立ち上げ支援、相談業務
- ・ NPO のホームページ立ち上げ支援
- ・ NPO への寄付文化を促進する企画実施（ボランティアポイント促進等）

④地域連携による地域課題、社会課題への対応

- ・ 大学との連携により地域課題と大学を結び、地域貢献を進める（県立保健福祉大学地域貢献連絡会議、関東学院大学、横浜市立大学、神奈川歯科大学との連携）
- ・ 行政、中間支援組織連携によりシニアの地域貢献を進める（生涯現役フォーラム）
- ・ 県、商工会議所、企業、商店会等と NPO の連携を進め地域経済の発展などを促進する（企業、NPO、大学パートナーシップミーティング）
- ・ 近隣サポートセンターと連携し、三浦半島広域で NPO が活躍できる環境づくりを行う。（逗子市との協力）
- ・ 地域団体との連携で高齢化社会の課題に対応する（支え合い組織の支援事業）
- ・ 子育て応援ネットワーク、こども食堂ネットワーク等のネットワーク事業の継続、拡大。

⑤市民活動の啓発活動

阪神淡路大震災（ボランティア元年）から始まった市民協働、市民が公共の担い手となる市民運動を常に見直し風化しないように確認していく。

- ・ SDG s 学習会
- ・ 団体間交流事業

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

< 自主事業 >

- ①大型プリンター設置
- ②中ロッカーの設置、一時預かりサービス
- ③コピー用紙、消耗品販売
- ④パソコン講座
- ⑤法人所有および寄付による備品貸し出し
- ⑥臨時休館に伴う印刷代行サービス

< 法人独自事業 >

(1) 委託事業

ボランティアポイント事業

(2) 地域の YMCA と連携し、日本、世界の YMCA とつながり実施する支援活動の促進事業

- ・チャリティーラン
- ・ピンクシャツデー
- ・国際・地域協力募金
- ・東日本大震災・熊本地震支援事業
- ・平和・ユースエンパワメント等